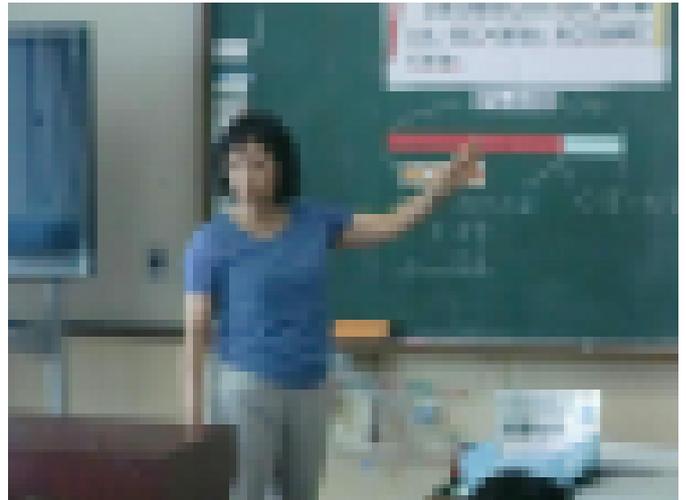


# 続・学びの実感

## ひっ算のしかたを考えよう（ひき算）

◇子供たち少々緊張した雰囲気ではありましたが、しっとりスタートした授業でした。また、友達の解答に「OKです」、分からないことがあると「質問です」など学習の約束ごとがしっかりと定着してると感じました。今年度の低学年部は『同じ単元で取り組む』方式で研究を進めています。その、低学年部授業2回目の斎藤先生の授業でした。



### ◆事前検討会から…

※『ワークシートを活用し学習をする』形で進める

- ・川村先生と同様に「ワークシート」を活用して学習を進め、子供たちの反応の違いや理解の違いを比較し、今後の指導に生かす。（当初の計画では違ったものを使用する予定でしたが、児童の実態を踏まえ今回の形に変更しました。柔軟な対応ですね。）
- ・問題文、テープ図はワークシートに示し児童に配布する。



※問題文の『印』の付け方

- ・赤色鉛筆を使い問題文にアンダーライン等の印を付ける。どの数字を使い、何算で求めるのかを問題文から見つけ出す練習のため。
- ・低学年部で統一して取り組んでみる。

※下位群への配慮等

- ・数字カードを用意して考えたり、計算させたりする。
- ・数字を分解して計算する「さくらんぼ型」で取り組む児童も出てくるかもしれないが、そこは深く（強く）矯正しない。

※いろいろな計算方法（答えの導き出し方）は考えさせない

- ・今回は『計算の仕方を身に付けさせる』を大きなテーマにして学習を進めていく。
- ・「は・か・せ」は意識させるが、「簡単に」という点では当てはまらないかも…。

### ◆事後検討会から…

《自評》

◎斎藤先生…

- ・事前授業では、自力解決をぱっと書いていたが、今回は個人差があった。
- ・学級の差（1組と2組の違い）なのか、 $100 - 50 = 50$ という考えが多かったが、

1組では $12 - 5 = 7$ が多かった。十の位の計算で $2 - 5$ で止まっている児童がいた。個々にアドバイスは入れたが、2組より悩んでいる児童が多かったように思う。

- アナウンスを意図的に少なめにしてみたが、効果があったように思う。



### 《事後検討会から》

◎参観者から…

- 子供同士の学び合いがよかった。
- 聞いているようでも、適用問題になると自己流になってしまう子がいた。全体共有の後、全員で声に出して復唱するなどの全体発表＋授業者の説明を、もっと集中して聞く手立てがあるとよい。
- 2組では（十の位の計算において） $10 - 5 = 5 \rightarrow 5 + 2 = 7$ が多かった。
- 繰り下がり矢印を書くかどうか、補助数の書き方など、低学年で共有できるとよいのでは？
- 補助数の書き方については、教科書に詳細は書かれていない。決まりはないから、学習段階（スキル）によっても異なるのも仕方が無いかも…。



- つぶやきの拾い方が上手で、子供たちが普段より集中していたと思う。
- 伝え合いで、プリントを机上に置いておくことで、お互いの話を聞き合っていた。
- 発表順序で、思考段階を踏んで指名していたところはさすが！ですね。
- 授業者も子供たちも、筆算式に答えを書くことを抜け落とすこともあるのですが、しっかりと確認し全体で書いていました。
- 事前授業よりアナウンスは少なめでしたね。
- 発表などの時にも取り上げるなど算数用語「繰り下げる」「繰り上げる」などをしっかりと定着させていくことが大切ですね。

- 個々の筆算の仕方を説明した後で、みんなで確認した後に式や筆算式を完成させたのが良かった。

### ◆課題のリレー

（有効…○ 課題…●）

○丁寧な全体共有

- テープ図による課題理解

- 問題文中の分かっていること、求めていることに印を付けると

●算数用語の定着（繰り上がり、繰り下がり等）

次回の研究授業は…

10月1日（水）2時間目

3年2組（大泉学級）「かけ算の仕方を考えよう」

できる範囲で話し合いや授業を参観しましょう。

低学年・中学年・高学年

|        |  |
|--------|--|
| 成<br>果 |  |
| 課<br>題 |  |

育てたい力

|  |
|--|
|  |
|--|